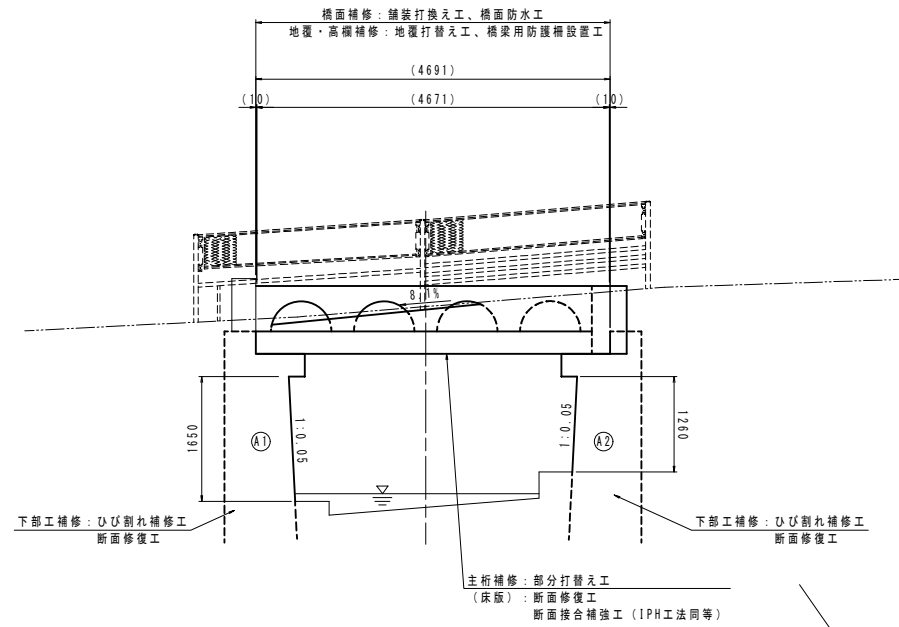
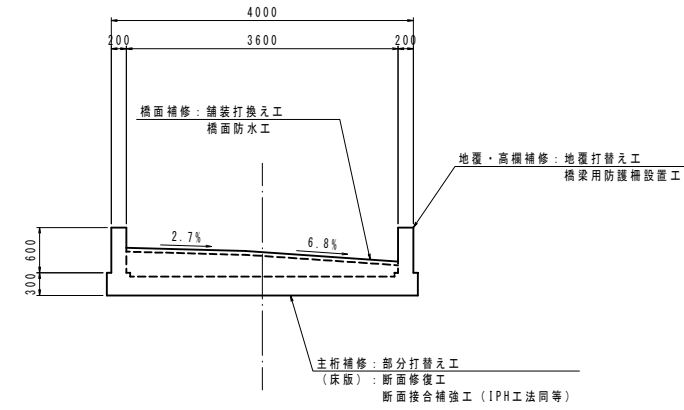


町道2431号線 上野川橋補修一般図

側面図 S=1:50



標準断面図 S=1:50

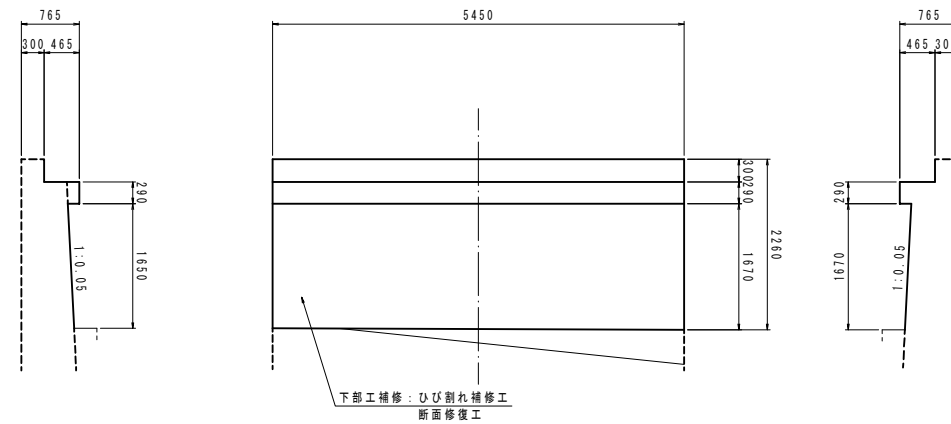


上野川橋 諸元

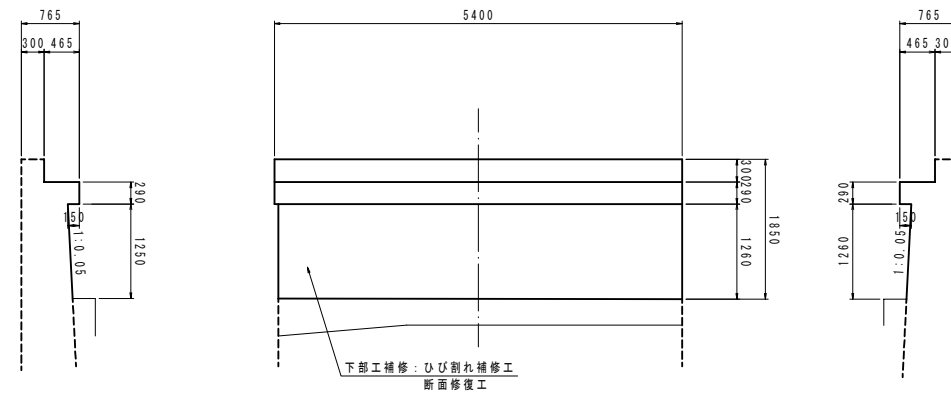
路線名	町道2431号線
橋格	不明
形式	R/Cスラブ橋
橋長	L=4.691 m
支間長	-
幅員	W=3.6m
縦断勾配	i=8.1%
横断勾配	i=2.7%~
斜角	θ=44°
舗装	As舗装 t=50mm
設計荷重	不明
雪荷重	不明
コンクリート	不明
鉄筋	不明
形式	不明
基礎形式	不明
設計震度	不明
コンクリート	不明
鉄筋	不明
添置物	なし
適用示方書	S14年
竣工年月	昭和28年(1953年)
補修経歴	不明

下部工 S=1:50

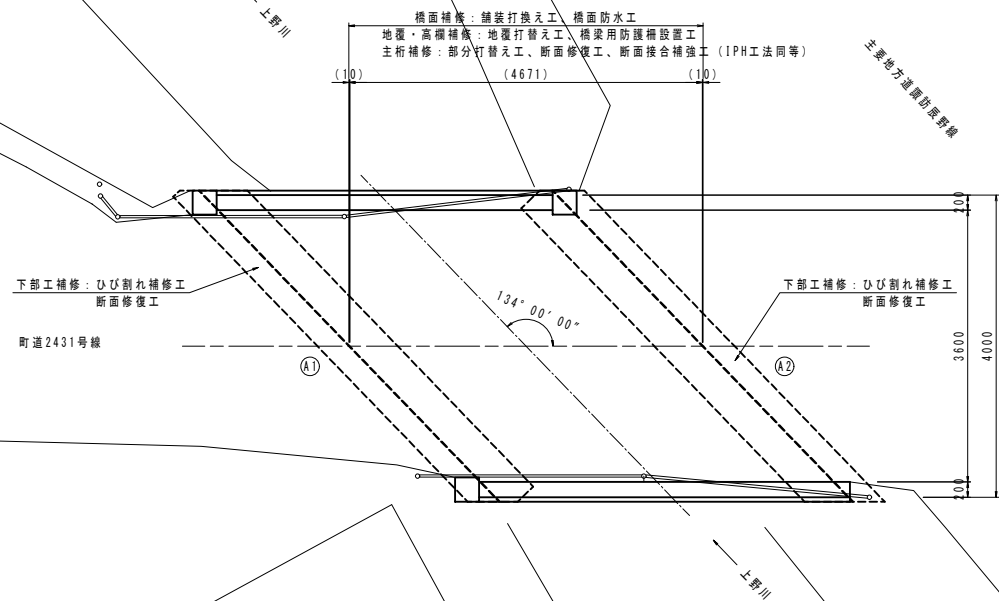
A1橋台



A2橋台



平面図 S=1:50



補修工法一覧表

部材・部位名	工法	工種・材質等
主桁 (床版)	部分打替え工	コンクリート (24-8-25-N)
	断面修復工	左官工法
	断面接合補強工	IPH工法等以上
下部工	ひび割れ補修工	低圧注入工、充填工
	断面修復工	左官工法
橋面	舗装打替え工	As舗装 (t=80mm)
	橋面防水工	含浸材
高欄・防護柵	橋梁用防護柵設置工	橋梁用防護柵 (歩行者自転車用柵兼用)
地覆	地覆打替え工	コンクリート (24-8-25-8B)

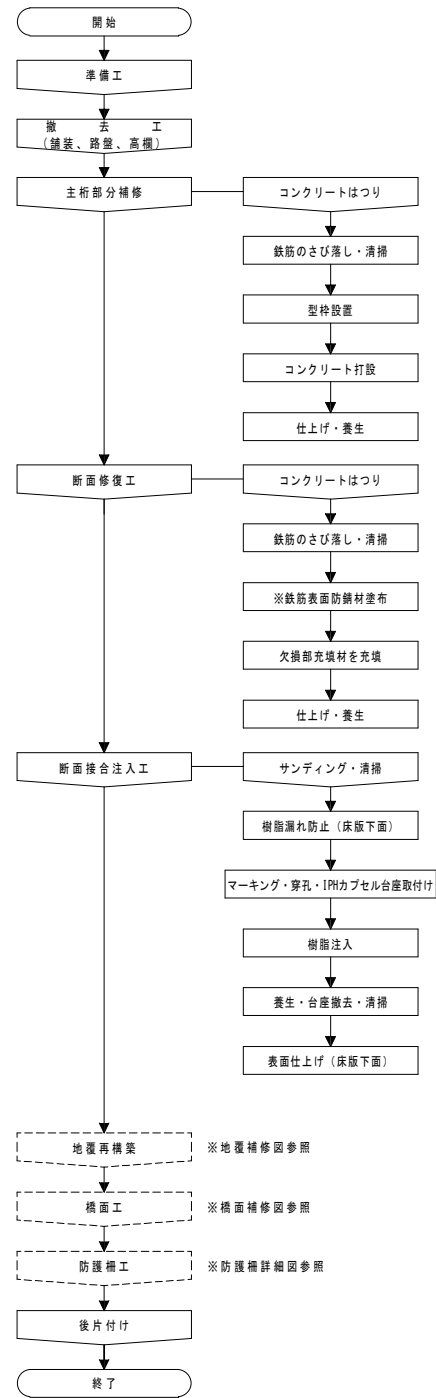
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事

番号	1/11	補修一般図	縮尺	図示
辰野町				
上野川橋				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
辰野町				

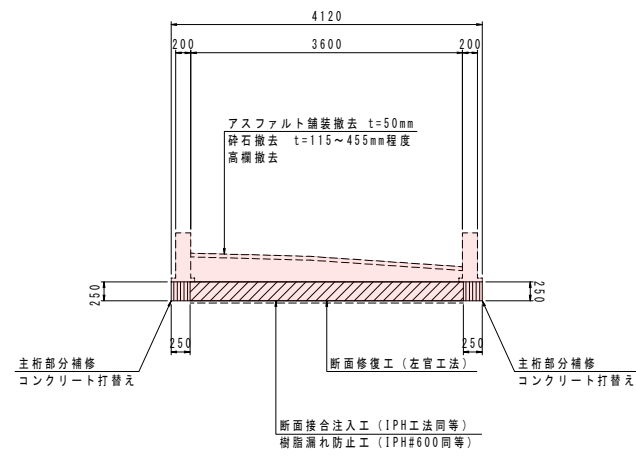
町道2431号線 上野川橋 主桁（床版）補修図 その1

主桁（床版）部分打替え、欠損部断面修復

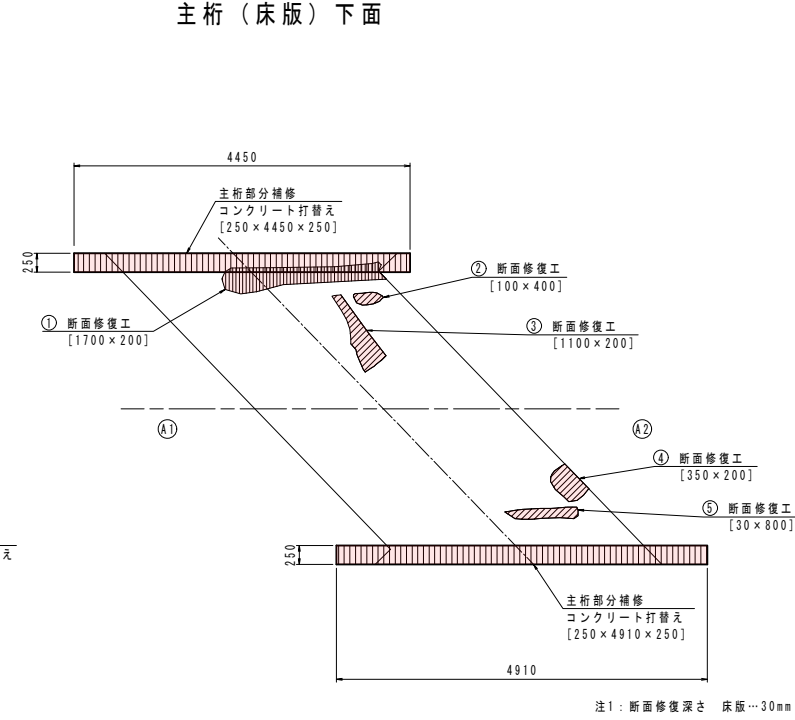
上部工補修 施工フロー



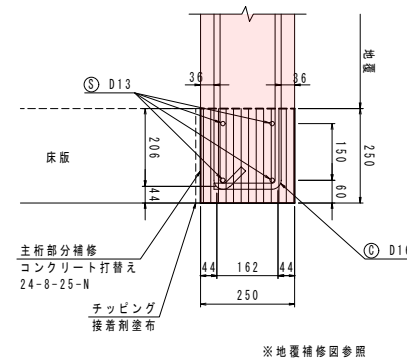
断面図 S=1:50



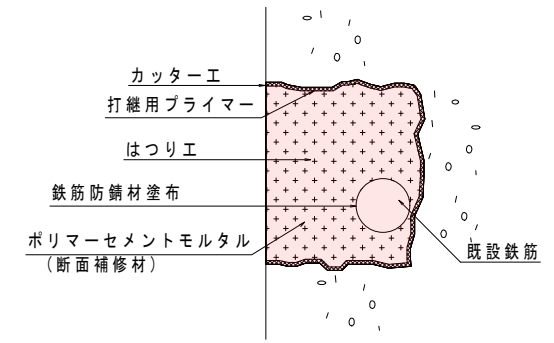
平面図 S=1:50



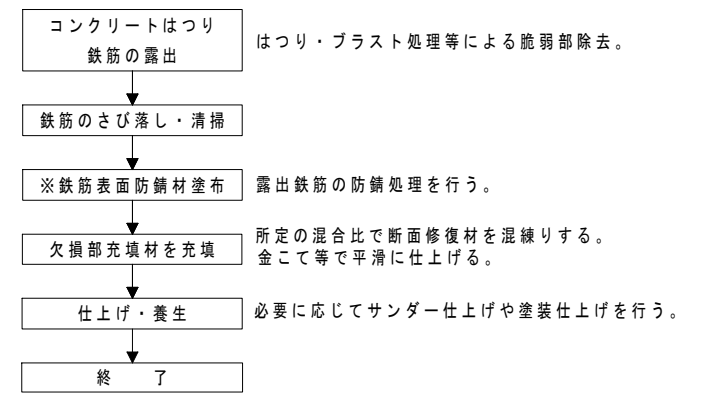
主桁（床版）コンクリート部分打替え詳細図 S=1:10



断面修復工詳細図



断面修復工



※は鉄筋露出・剥離部に適用する。

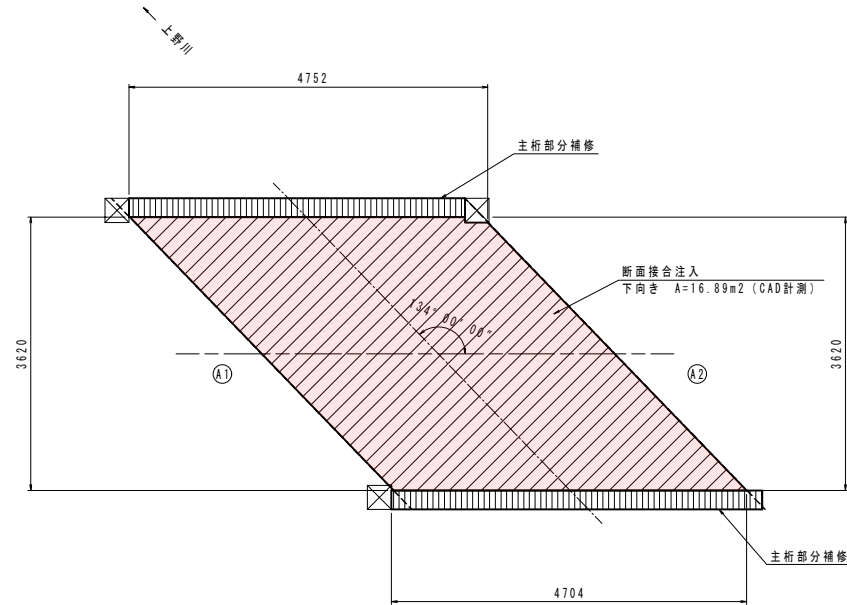
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	2/11	主桁(床版)補修図その1	縮尺 図示
辰野町			
上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

- 注記)
- 床版（地覆）取壊し時は、既設床版（主桁）等の鉄筋は切断せず、新旧コンクリートの定着に用いることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食が著しい場合はこの限りではない。
 - 新設地覆が既設床版と接触する面は、コンクリート打設時に接着剤を塗布すること。
 - 床版上面に土砂化等の損傷が確認できた場合は断面修復を行うこと。

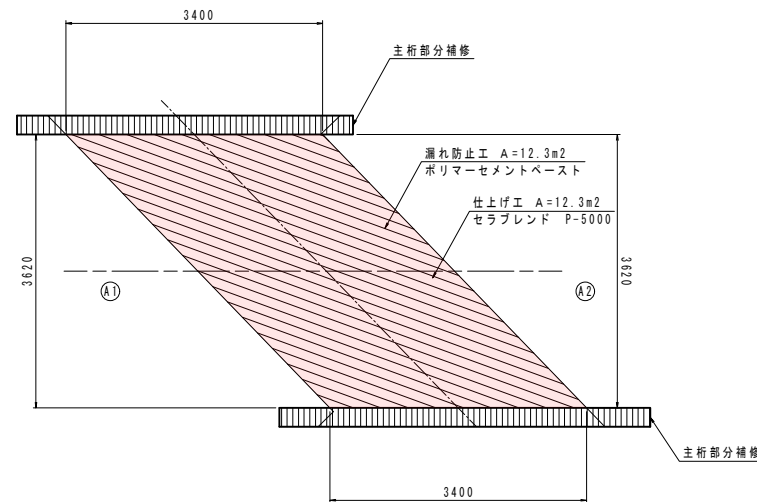
町道2431号線 上野川橋 主桁（床版）補修図 その2

断面接合注入工（IPH工法同等）

平面図 S=1:50
主桁（床版）上面



平面図 S=1:50
主桁（床版）下面



主桁上面 下向き	=	16.89
主桁下面 上向き	=	16.89
合計	Σ	33.78
横向き合計	σ1	0.00 m2
上向き合計	σ2	0.00 m2
下向き合計	σ3	16.89 m2

名称	仕様	単位	数量	備考
サンディング工		m2	12.3	
樹脂漏れ防止	ポリマーセメントペースト	kg	90.9	IPH#600

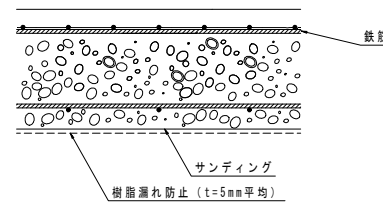
名称	仕様	単位	数量	備考
JP台座		個	609	
ジャバラ		個	1827	3回転
台座取付	エポキシ樹脂 36孔/m2	kg	16.7	ピックアップシール
注入材	エポキシ樹脂	kg	91.4	E-396H
低圧注入器		個	609	

名称	仕様	単位	数量	備考
塗接着剤		kg	1.4	セラブレンドプライマー
表面保護材	無機系通気型撥水塗料	kg	6.8	セラブレンドP-5000

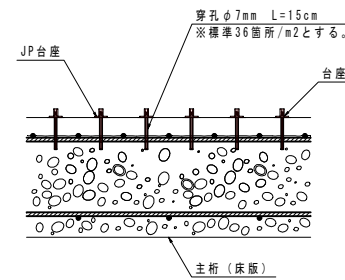
断面接合注入工 (36箇所/m²)

IPH同工法 [断面接合注入工・注入施工]

1. サンディング・樹脂漏れ防止

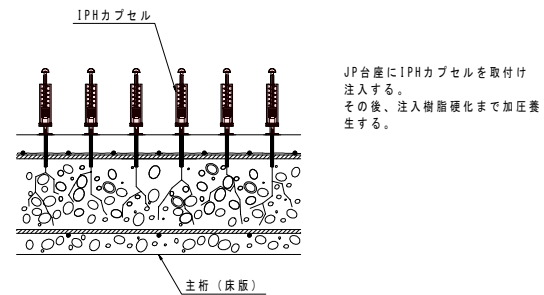


2. マーキング・穿孔・JP台座取付け



注) 現場の状況によってピッチを替えるものとする。

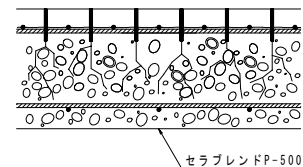
3. 樹脂注入



1. サンディング
2. 樹脂漏れ防止
3. マーキング
4. 穿孔
5. 台座取付け
6. 注入
7. 加圧硬化養生
8. 撤去
9. 表面仕上げ

- (注記)
- ・下向き施工のため、穿孔後内部の水を吸い取る等孔内を清掃すること
 - ・床版側面の漏れ止めが必要な場合は、漏れ止めを行うこと
 - ・床版内部のジャンカが著しいため、加圧状態になるまで注入を繰り返すこと

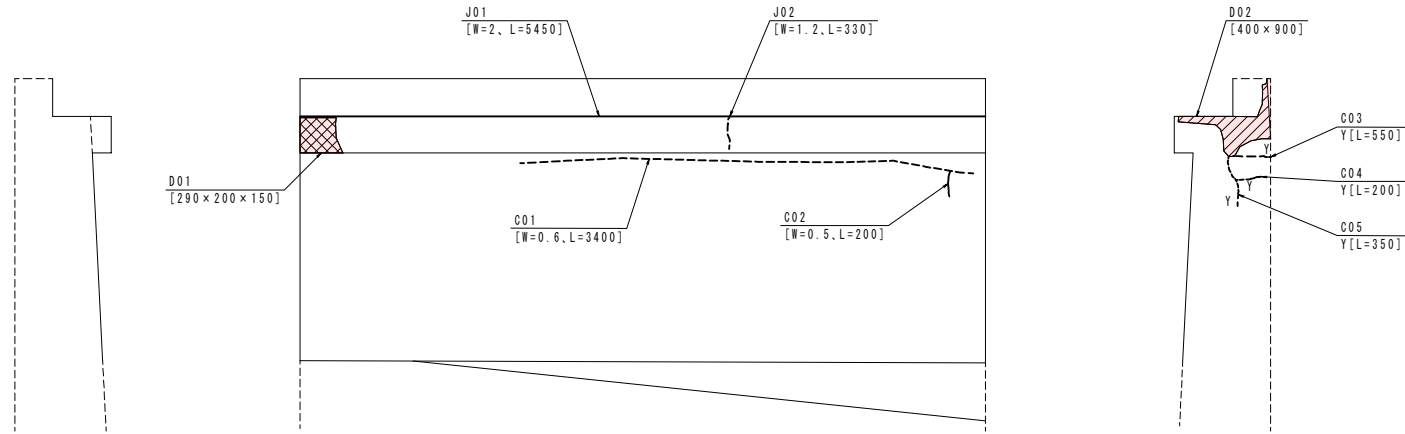
4. IPHカプセル及び台座撤去・清掃・仕上げ



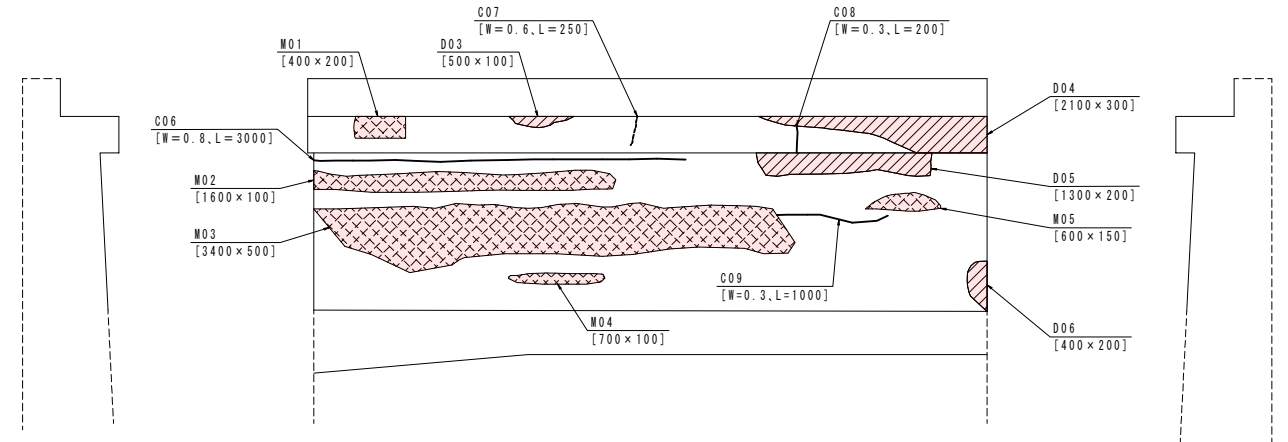
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	3/11	主桁(床版)補修図その2	縮尺 図示
辰野町 上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

町道2431号線 上野川橋 下部工補修図 その1

A1橋台 S=1:30



A2橋台 S=1:30



記号凡例

記号	補修工法	損傷の種類
COO	ひび割れ注入工	ひび割れ (W=0.3mm以上 1.0mm未満)
JOO	ひび割れ充填工	ひび割れ (W=1.0mm以上)
DOO	断面修復工	剥離・鉄筋露出、うき
MOO	断面修復工	豆板

OOは補修箇所の番号を示す。集計表に対応している。

損傷凡例	
ひび割れ	W=0.15mm
	W=0.3mm
	W=0.35mm
	W=0.5mm
	W=0.6mm
	W=0.8mm
	W=1.2mm
	W=2.0mm
剥離	
鉄筋露出	
うき	
遊離石灰	
漏水・滲水	
その他	

ひび割れ注入集計表の注意事項
 ・ひび割れ注入工法は、ひび割れ幅が0.3mm以上1.0mm未満のものを対象とする。
 ・ひび割れ幅で“Y”の表示は遊離石灰を伴うひび割れを示し、クロスカット注入工法による補修を行うものとする。
 ・この場合、ひび割れ幅は遊離石灰で閉塞しているため数量計算上の仮定として、ひび割れ幅を0.6mmとする。
 ・また、注入深さについて注入する壁厚の1/2とする。
 ・その他のひび割れに関しては通常の低圧注入工法による補修を行う。
 ・この場合、注入深さについては次式により推定値とする。
 式：ひび割れ深さ推定値 = 200 × ひび割れ幅

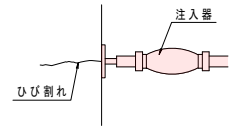
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	4/11	下部工補修図その1	縮尺 図示
辰野町 上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

町道2431号線 上野川橋 下部工補修図 その2

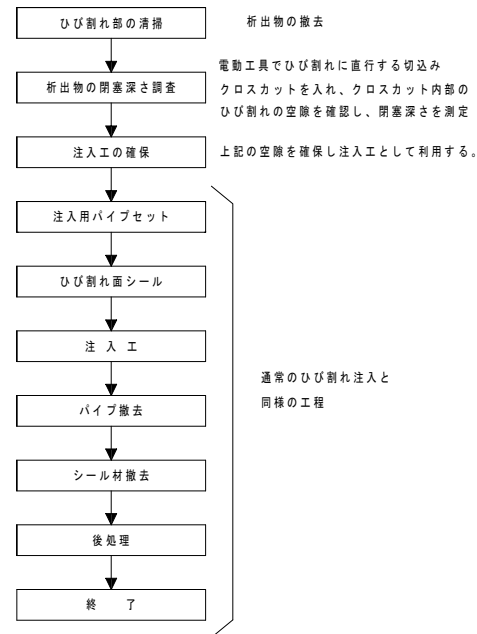
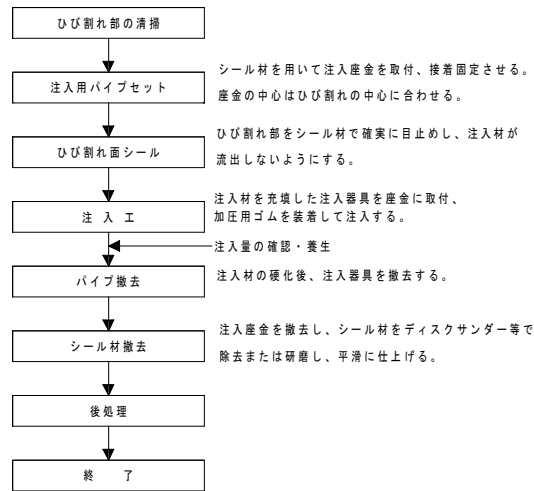
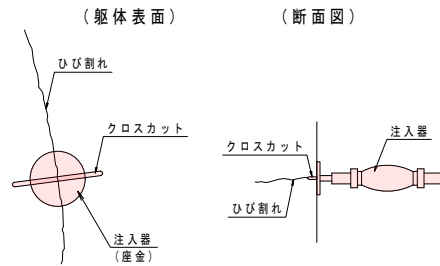
ひび割れ注入工

(ひび割れ幅 0.3mm以上 W < 1.0mm)

遊離石灰を伴わない場合

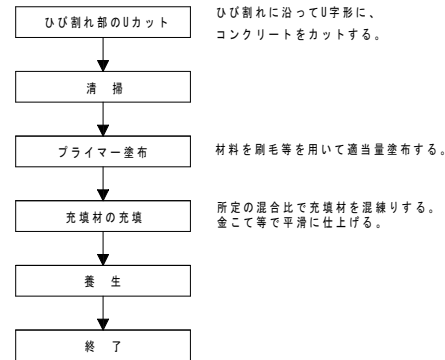
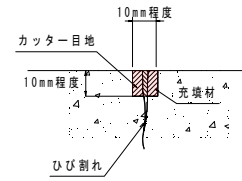


遊離石灰を伴う場合 (クロスカット工法)

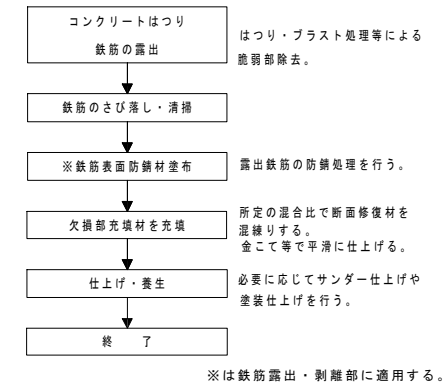
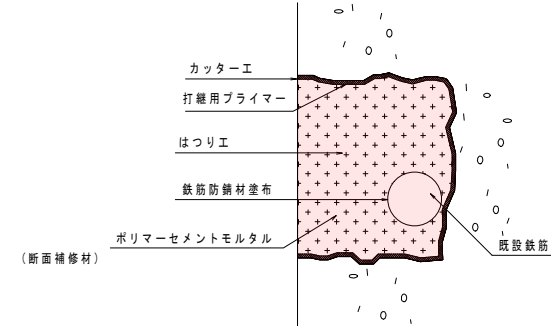


ひび割れ充填工詳細図

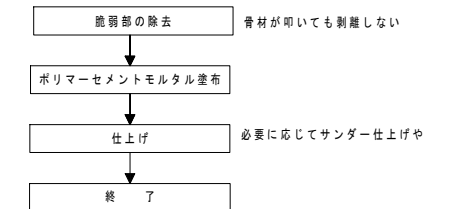
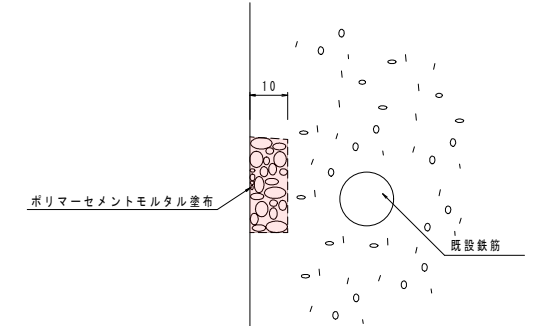
ひび割れ幅 (1.0 ≤ W)



断面補修工詳細図



断面補修工(豆板)詳細図



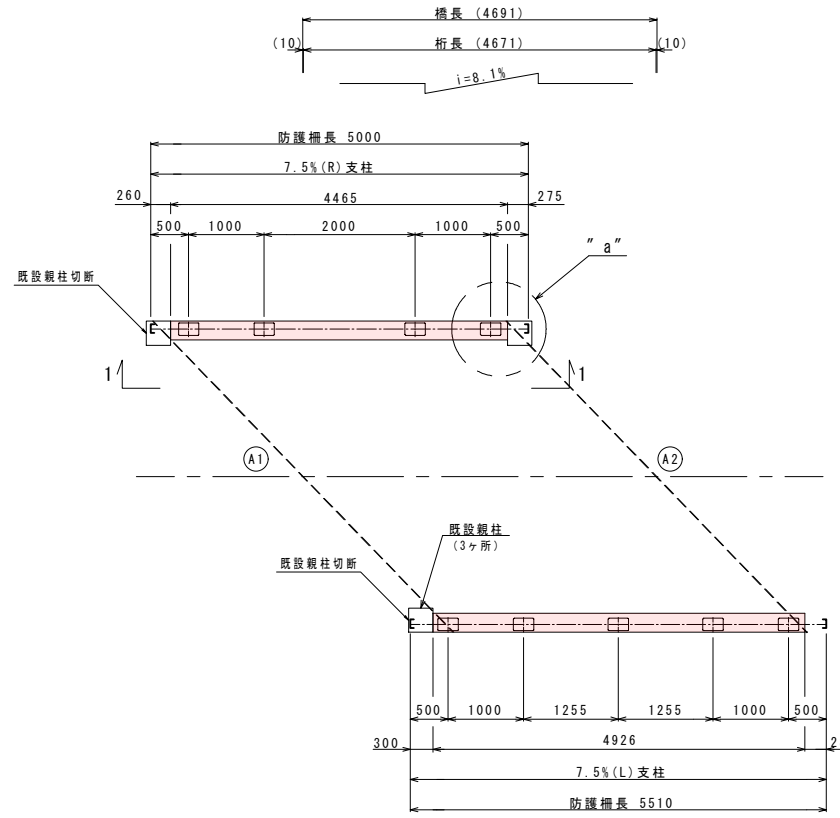
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	5/11	下部工補修図その2	縮尺 図示
辰野町			
上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

町道2431号線 上野川橋 防護柵詳細図 その1

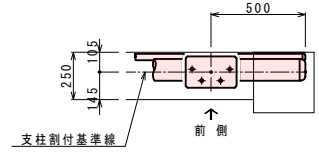
支柱割付平面図 S=1:50

特記: 本図は製作時、現場検測を行い確認をすること。

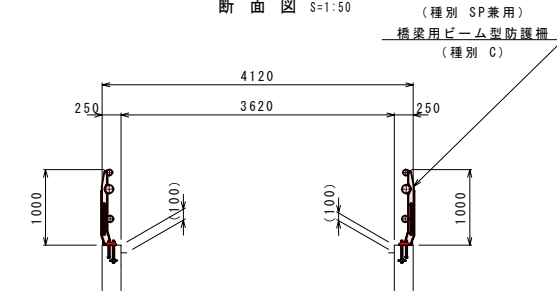
注1. () 寸法は水平長を示す。
注2. 防護柵長は支柱割付基準位置の長を示す。



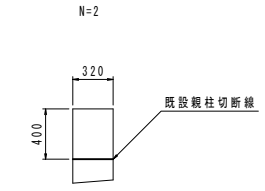
"a" 部詳細図 S=1:20



断面図 S=1:50

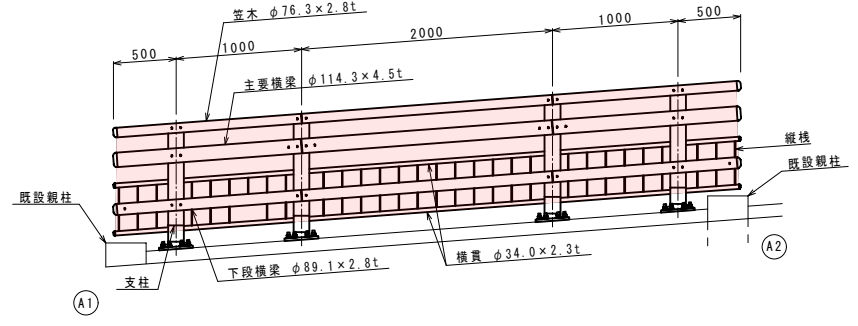


既設親柱切断図 S=1:30

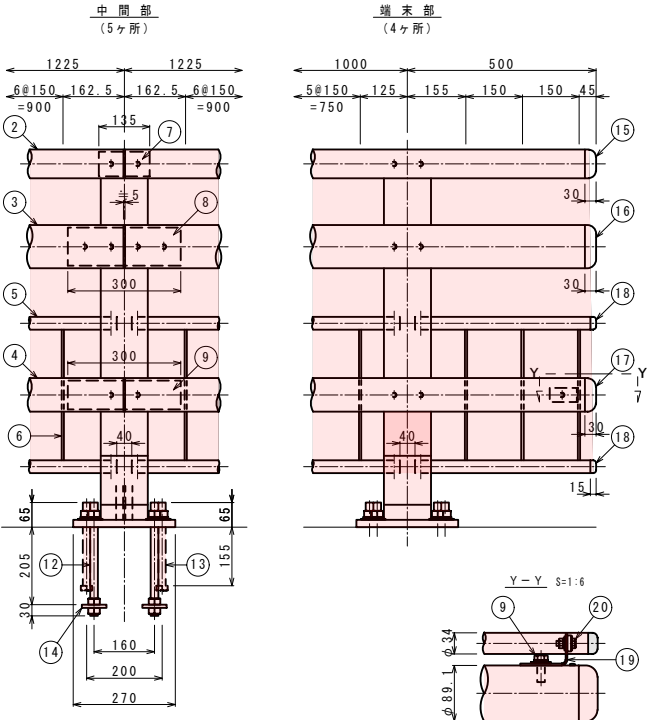
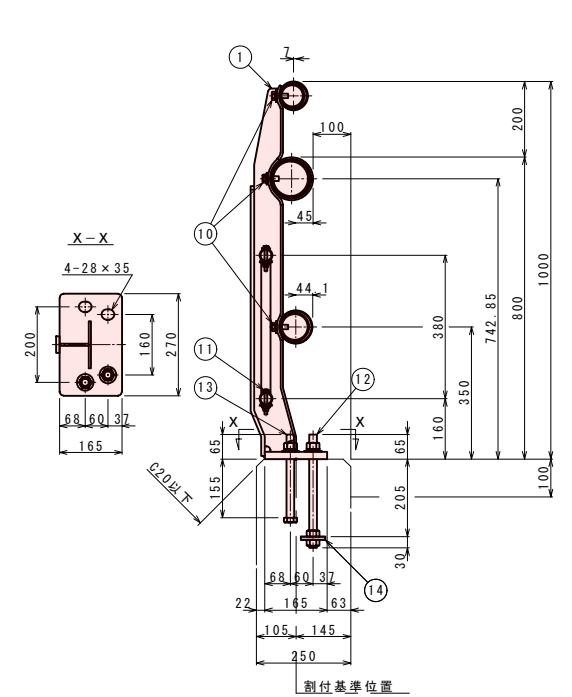


防護柵組立図 S=1:30

1-1 矢視



(歩行者自転車用柵兼用)
橋梁用ビーム型防護柵詳細図 S=1:10
(種別 C) FMX1-C-p3100K(特)



材料表

FMX1-C-p3100K(特) (種別 C) 塗装仕様

符号	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量	表面処理
1	支柱	H1000×165×125/270	SS400	17.33	9	156.0	HDZT49 + 工場塗装
2	笠木	φ 76.3×2.8t	STK400	5.08	10.365 m	52.7	"
3	主要横梁	φ 114.3×4.5t	"	12.20	10.365 m	126.5	"
4	下段横梁	φ 89.1×2.8t	"	5.96	10.365 m	61.8	"
5	横貫	φ 34.0×2.3t	"	1.80	20.180 m	36.3	"
6	縦横	FB 6×25×346	SS400	0.41	62	25.4	"
7	スリーブ	φ 65.0×4.0t×135	STK400	0.81	5	4.1	"
8	"	φ 101.6×4.5t×300	"	3.23	5	16.2	"
9	"	φ 76.3×4.2t×300	"	2.23	5	11.2	"
10	取付ボルト	M12×35 (W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.06	68	4.1	HDZT49
11	"	M 8×60 (N1, W2, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.04	36	1.4	"
12	アンカーボルト	I-M20×300 (N3, W1, SW1)	強度区分 6.8 以上	0.86	18	15.5	"
13	"	M20×220 (N1, W1, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.68	18	12.2	"
14	アンカープレート	9t×65×65	SS400	0.27	18	4.9	-
15	キャップ	φ 76.3×30	AC4C	0.24	4	1.0	工場塗装
16	"	φ 114.3×30	"	0.47	4	1.9	"
17	"	φ 89.1×30	"	0.30	4	1.2	"
18	"	φ 34.0×15	"	0.06	8	0.5	"
19	固定金具	3t×38	SS400	0.09	4	0.4	HDZT49 + 工場塗装
20	取付ボルト	M8×25 (N1, W2, SW1)	強度区分 4.6 以上	0.03	4	0.1	HDZT49
合計							533.4 kg

特記) 橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高橋協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

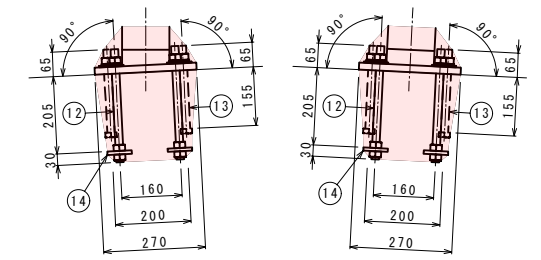
注記) 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」

(令和3年3月)による。

*コンクリート設計基準強度の $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$

アンカーボルト設置要領図 S=1:10

注: 地覆勾配に対して 90° に設置する。

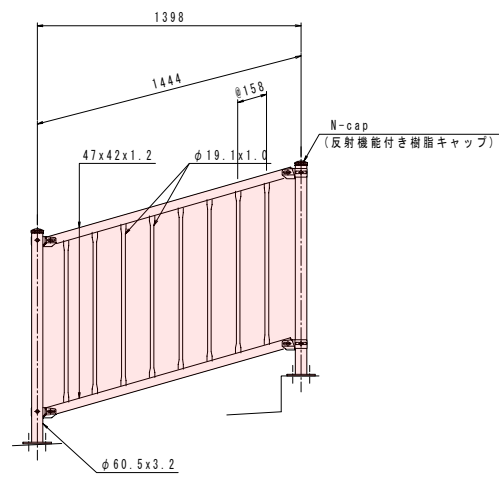
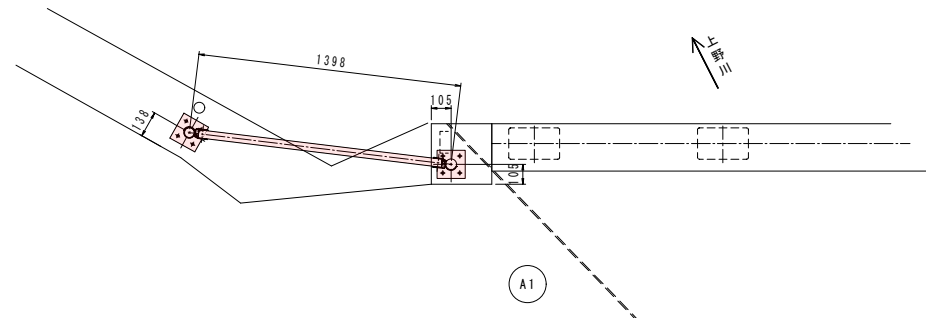


令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	7/11	防護柵詳細図	縮尺 図示
長野県 上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
長野県			

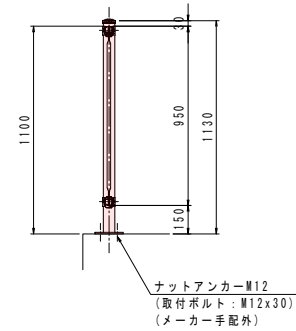
町道2431号線 上野川橋 防護柵詳細図 その2

転落防止柵 (参考図)

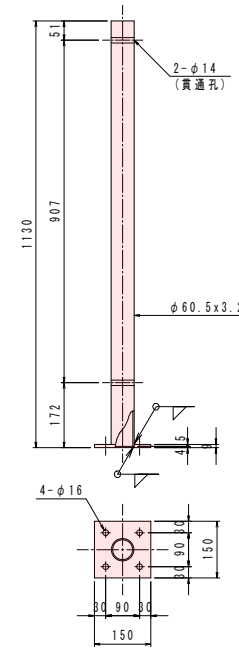
割付図 S=1/20



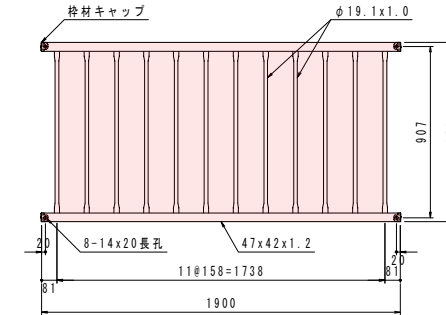
断面図 S=1/20



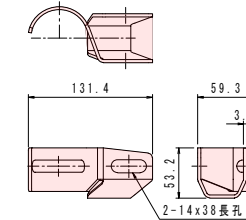
支柱 S=1/10



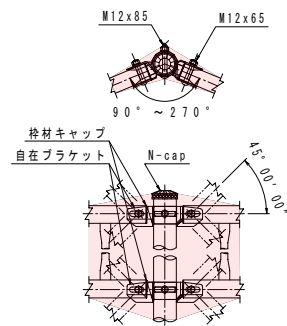
パネル図 S=1/20



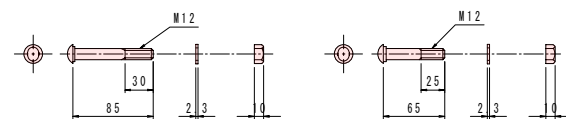
自在ブラケット S=1/4



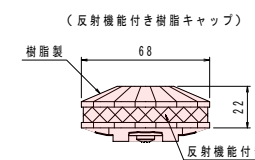
コーナー部詳細図 S=1/10



ブラケット取付ボルト S=1/4 パネル取付ボルト S=1/4



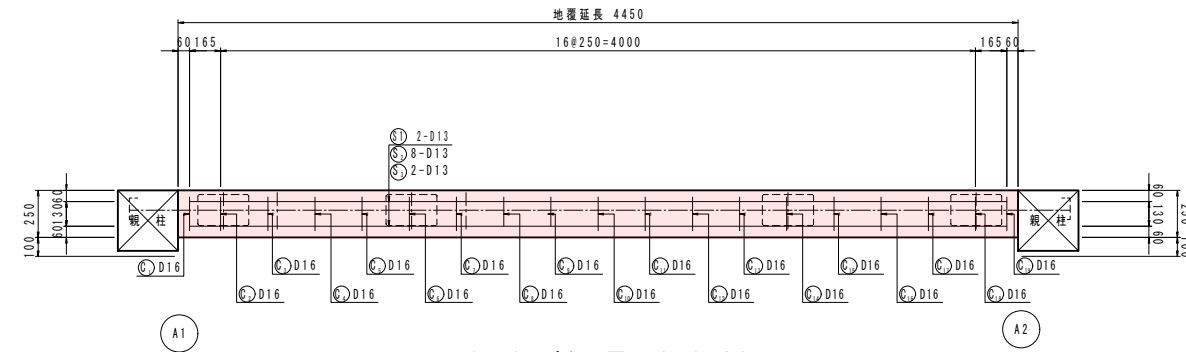
N-cap S=1/2



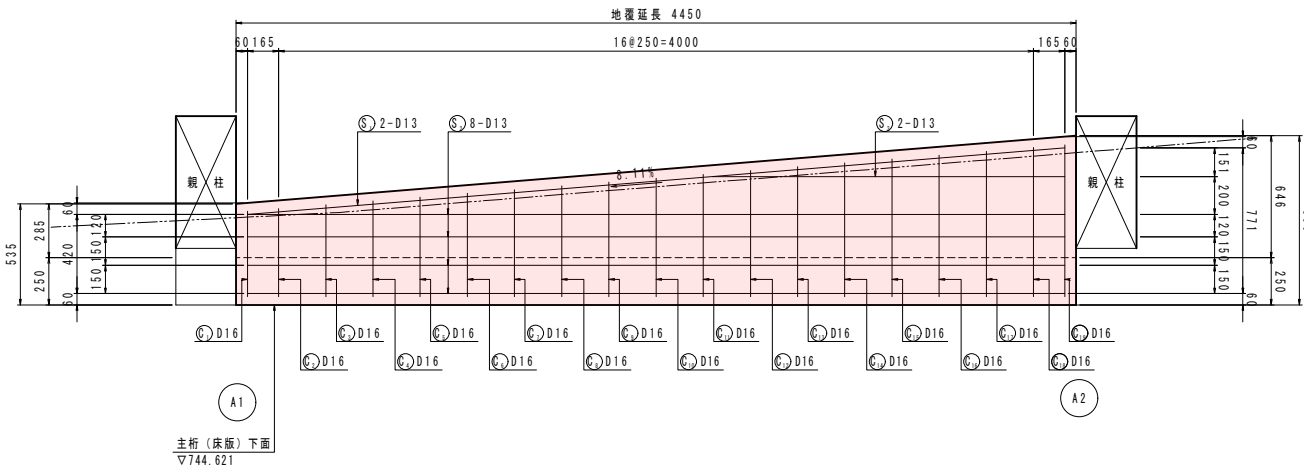
令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	8/11	防護柵詳細図その2	縮尺 図示
辰野町			
上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

町道2431号線 上野川橋 地覆配筋図 その1

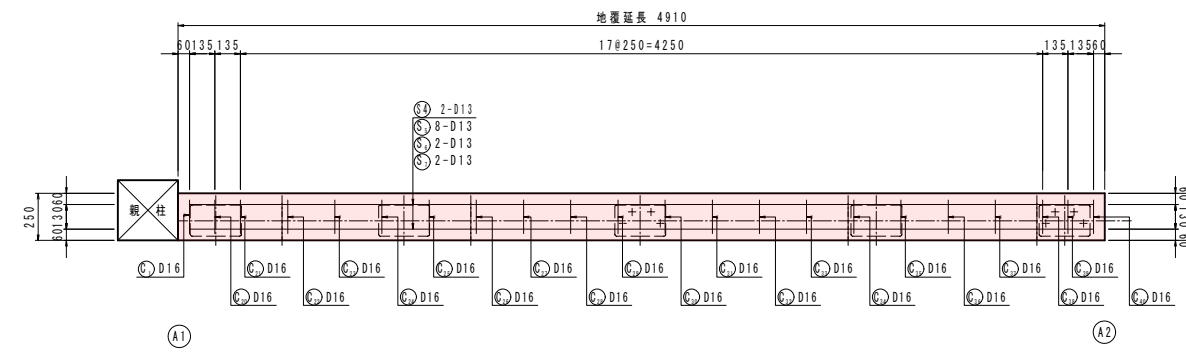
1-1(下流側) 平面図 S=1:20



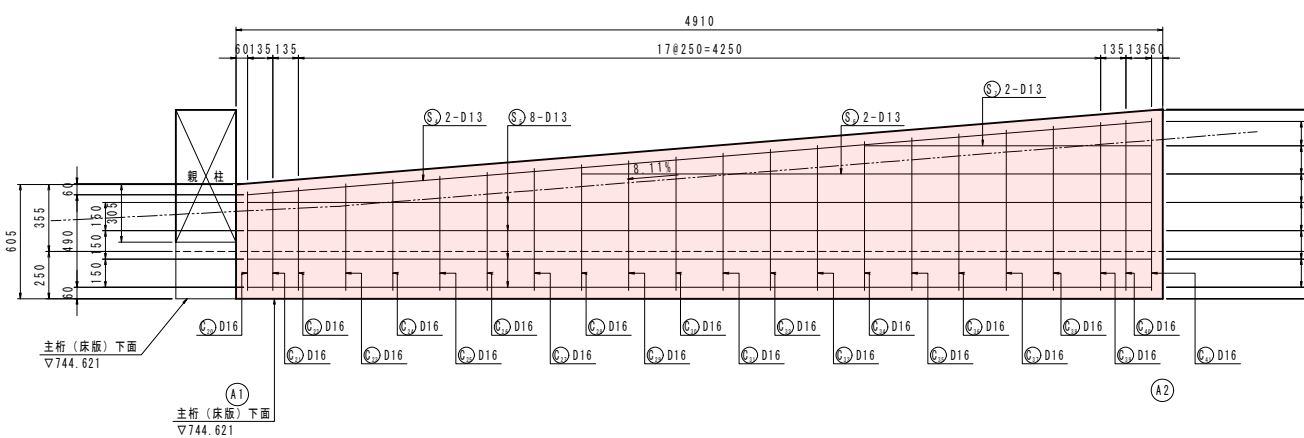
1-1 側面図 S=1:20



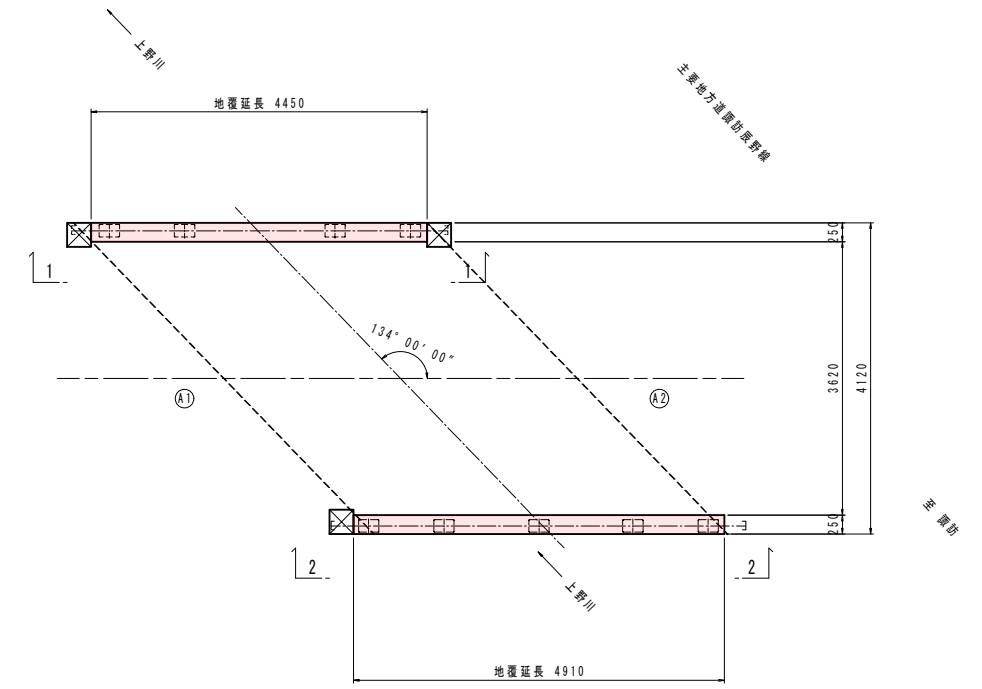
2-2(上流側) 平面図 S=1:20



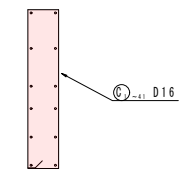
2-2 側面図 S=1:20



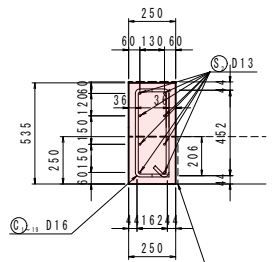
平面図 S=1:50



鉄筋組立図

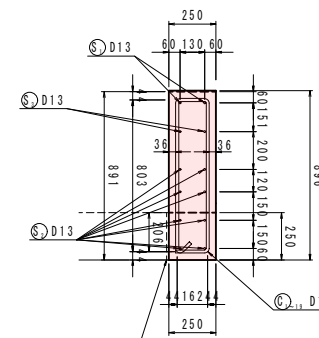


【断面図】



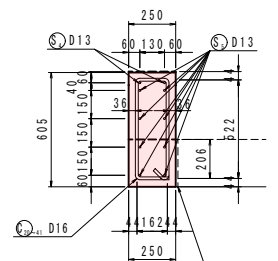
テッピング
接着剤塗布

【断面図】



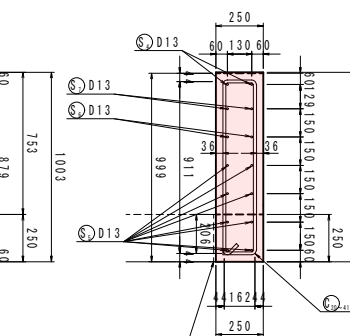
テッピング
接着剤塗布

【断面図】



テッピング
接着剤塗布

【断面図】



テッピング
接着剤塗布

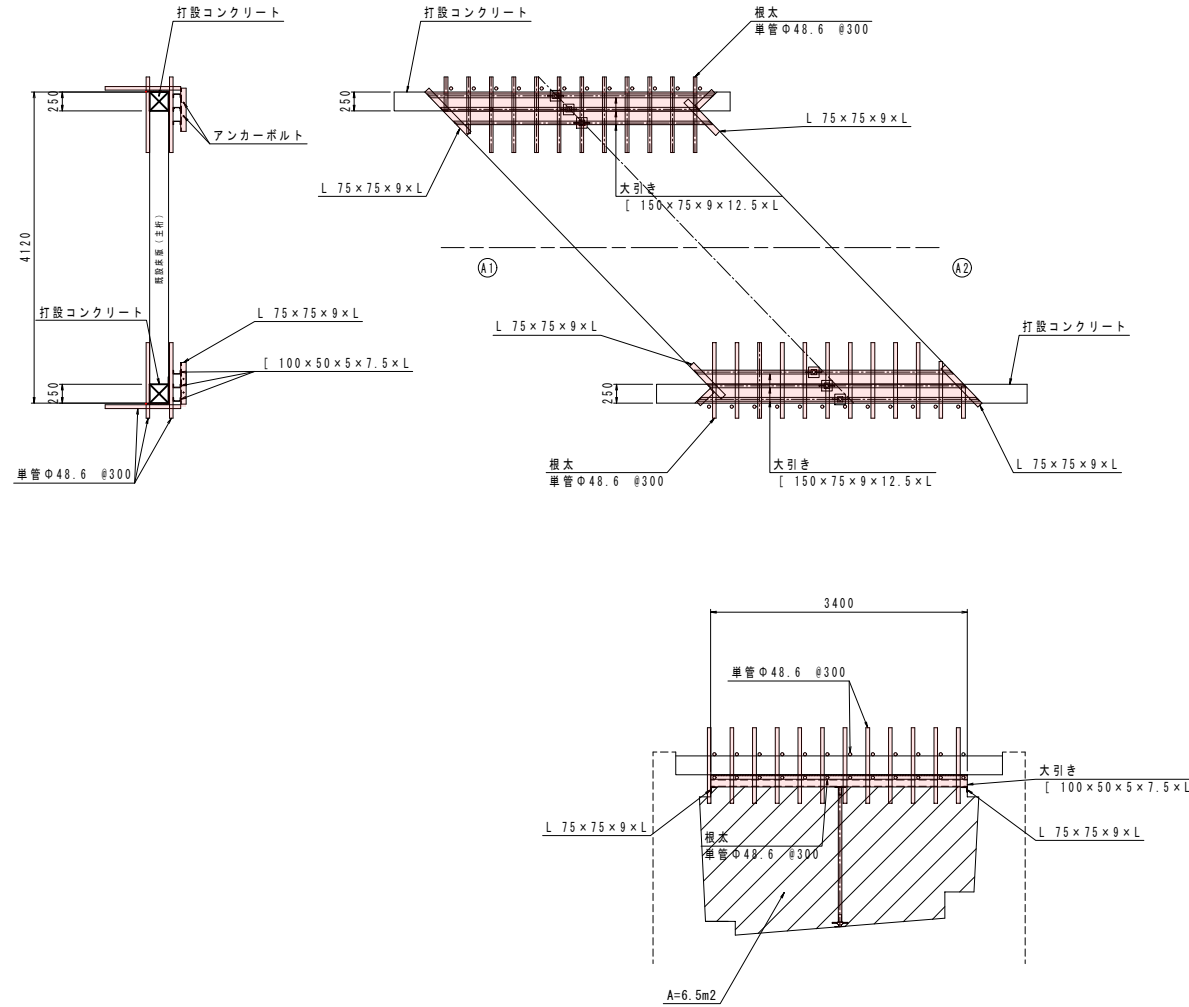
- 【注記】
1. 地覆取壊し時は、既設床版(主桁)等の鉄筋は切断せず、新設コンクリートの定着に用いることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食が著しい場合はこの限りではない。
 2. 腐食や施工不良により新設コンクリートの一体化が難しい場合、既設主版側にアンカーを設置すること。アンカー量は協議により決定すること。
 3. あと施工アンカー用の穴を削孔するときは事前に鉄筋探査を実施すること。
 4. 新設地覆が既設床版と接触する面は、コンクリート打設時に接着剤を塗布すること。

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	9/11	地覆配筋図その1	縮尺 図示
辰野町 上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			

町道2431号線 上野川橋 仮設図 (参考図)

主桁 (床版) コンクリート部分打替え型枠支保工 S=1:50

※地覆打替え時にも使用する。

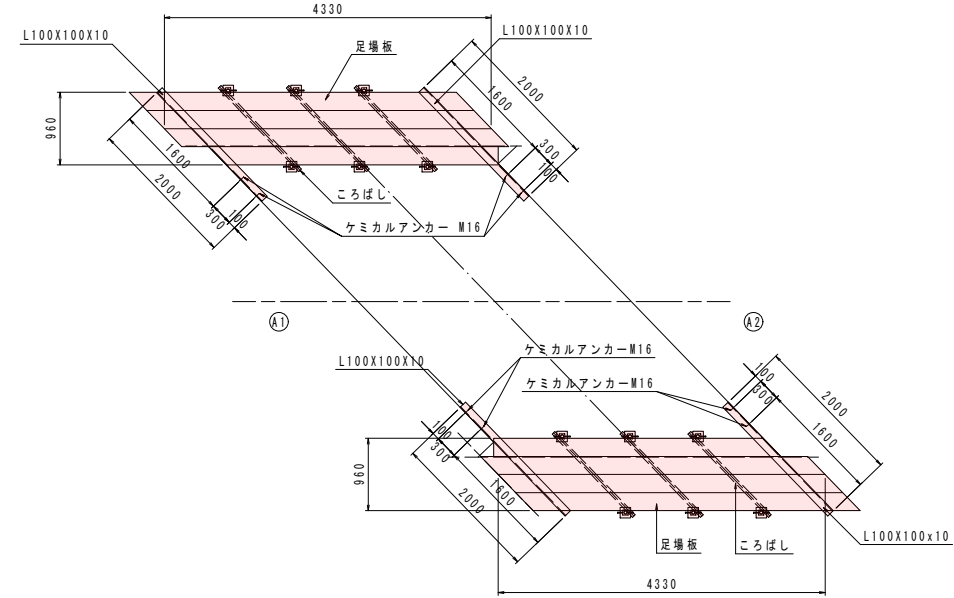


注記)
1. 支柱を設置しない場合は必要に応じて、L形鋼のたわみ対策を実施すること。

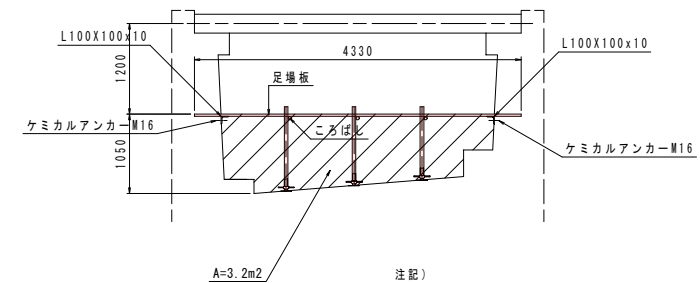
足場工 (施工時) 図 S=1:50

※) コンクリートはつり時のみ設置

平面図



側面図



注記)
1. コンクリートはつり時足場については、作業終了時毎日撤去すること
2. コンクリート打設時のパイプサポートについては、晴天時の施工とすること

令和8年度 国庫補助道路メンテナンス事業上野川橋補修工事			
番号	11/11	仮設図 (参考図)	縮尺 図 示
辰野町 上野川橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
辰野町			